ニューズレター 雪氷北信越
No.41 平成7年1月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次
見学会・講演会・学習会報告／学習会・技術部会・講習会の案内／研究会の案内／支部賞／その他

見学会

富山・石川地区見学会報告

富山・石川地区の「梯級川、石川河口」見学会が12月1日（木）に6名の参加者で開催された。会合は8月上旬に実施していたものの、今年は去る9月29日（金）から30日（金）まで全国大会が開催され、その影響で、参加者数は約40名に届いていた。その結果、参加者の意欲が高く、予想以上に参加され、特に、当会が主催する地区の見学会では、参加者が増えており、今後の活動に期待が寄せられている。

午後は石川海岸なぎさリフレッシュ事業が昨年度に始まった石川海岸（手取川右岸）及びC.C.Z.（Coastal Community Zone）で、様々なレクリエーションニーズに対応するための防災及び環境の保全活動を図るなど、地域振興に寄与する活動が盛んであった。特に、海岸の景観美を保つために、自然に近い環境を維持することに意欲が寄せられている。

見学会に参加して

見学会の日は12月1日（木）に会場が決定され、参加者数は約40名に達した。会場は、石川河口近くの川崎市営の Crush Park で、初めての見学会が開催された。

会合では、参加者が自主的に議論し、地域の特性に合わせた土壌改良法や、環境保全活動についての意見交換が行われ、地域の将来像の提案も行われた。また、地域住民と地域学会との連携についても討議され、今後の活動に向けた方針が示された。

見学会は、地域の特性を生かした地域振興策の一部であり、今後も引き続き開催される予定である。
講演会
講演会「雪と植栽について」の報告

上記のテーマでシンポジウム形式の講演会が開催された。

日時：平成6年12月2日（金）13:30～18:00
場所：福井県総合グリーンセンター
主催：福井雪害対策研究会／福井県雪害対策技術センター
／(社)日本雪水学会北信越支部
後援：(社)福井県造園組合／(社)福井県造園協会／福井県雪害対策研究会
参加者：福井県土木部、農林水産部担当技術者、造園業関係者 34名

関会の挨拶 本多義明（福井大学教授・福井雪害対策研究会会長）
司会 前田博司（福井工業大学教授）

1. 霜雪地域の街路樹の植栽について 福井県立大学助教授 野田敏秀氏

我々が国の街路樹の歴史からはじまり、街路樹の意義と功罪、街路樹バスルートの、街路樹の種選定理由、街路樹の条件、植栽手法、維持管理等についてのきめ細かなレッスンがあった。歴史的に、758年東大寺僧普照が城外の道路の両側に果樹を植栽することを朝廷に建議し、759年大正宮にまで伝じた道路の両側に果樹を植栽することにした。雪との関係では雪の中の目印、吹雪の防除として重要なものであることが認識されていた。

2. 樹木の立場からみた植栽について 福井県造園組合理事長 井上新平氏

造園者としてより植木を立場から、「街路樹は呼ぶ」として、植栽の計画、植栽材の選定、各事について、木の側に立った配慮などを訴えた。

3. 樹栽と冬の景観について 三国土木事務所 専門員 石橋春一氏

これまで担当した公館の計画や現地実績において、季節の雪遊びなどを考えてきた事例を紹介し、福井県内で植えられている樹種の実態の報告があり、ついで、公園計画において、景観との関係等、雪との接点での課題が残されていたとの話があった。

（杉森理事 記）

学習会
富山地区学習会「冬期降雪のモニタリングと人工酸性雪結晶内の気泡」及び「富山県内の酸性雪調査結果」の報告

学習会に提案は2題。最初の提案で富山大修士の木戸瑞治氏が講演した。前者は特に大きく二つに分かれ、前半は冬期降水の酸性物質の輸送を気圧配置や風系などを考えて検討したもので、後半は硫酸、硝酸などの酸を含む酸性物質の分布を超音波発射器で微小水滴に変えて観察し、その際の微水滴の大きさや形状にできる可能性についての調査を含んだものである。前半は、酸性物質の遠距離輸送に関連し、後半は雪の酸性化の機構をはじめとして、雪の成長における雪の鈍化、雪結晶中の気泡などの解明をめざした重要な研究で大変興味深い研究が深かった。

後者は、富山県内の各所にあり、酸性雪モニターからの報告をまとめたもので、200例もある酸性度の分布を網羅している。他の場所と比べ特異性を示すところや、高速道路の影響など、豊富な事例が報告された。

11月27日（日）14:00～18:00、富山市科学文化センターで行われ、参加者は23名であった。

（石坂幹事 記）
長野地区では、長野市の信州大学教育学部を会場として、12月3日の14時30分から16時30分にかけて学習会が開催された。当時は南極観測第18次越冬隊員（気象研究部門）として1978年11月～1979年3月、また、第33次越冬隊（気象研究部門）として1991年11月～1992年3月と、昭和基地での度々にゆるやかな越冬生活で研究観測に従事された経験を持つ岩井邦宏会員（信州大学）により、「南極の雪と氷」を題材にした報告があり、オンデマンド利用の機会を提供するものであった。講演者は19名。長野地区では、これが初の学習会であったが、参加者は25名を占め、全体の会員数の少ない長野地区としては盛況であったといえよう。

一方、新潟大学を訪問されたカナダNRCC工藤昭博士、長崎県教育庁、気象研究部門、北極の環境変動と、ハワイの天文電波観測施設による研究について、という話題で講演していただきました。最近の観測能力の向上に伴い、研究が進歩しており、長崎県工藤博士が戻っても研究できるようになっていること、CO2濃度が増加すると植物の成長が大きく加速されること、また、今後も宇宙観測による地球表面のCO2濃度を観測した結果など、興味深い研究成果を聞かせていただきました。質問も多数あり、大盛況のうちに講演会が終了しました。

講演会 \「カナダの地球規模環境変動研究について」の報告

期日：平成6年12月1日（木）14:00～16:00
場所：新潟大学積雪地域災害研究センター会議室（３F）
主催：新潟大学・長岡雪水防災実験研究所
後援：（社）日本雪氷学会北信越支部
参加者：45名

学習会・技術部会
「新潟地方学習会」及び「雪崩の力学研究技術部会」のお知らせ

話題：「カナダにおける雪崩対策事情」
講師：和泉英氏（新潟大学・積雪地域災害研究センター）
日時：平成7年３月3日（金）14:45～15:45
（バス・長岡駅発14:05・技大前14:33）
場所：長岡技術科学大学・機械建設棟8階会議室
内容：和泉氏は、昨年9月から昨年5月までの間、文部省在外研究員としてカナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学において雪崩の研究に従事していただきました。そこで、カナダにおける雪崩対策の現状や雪崩問題等の問題についての報告をお願いいたしました。参加の方々の参加をお待ちしております。

なお、学習会終了後、「雪崩の力学研究技術部会」を開催いたしますので、学習会の方はこちらの方にもご出席下さい。

連絡先：遠藤八十男（森林総研・十日町）TEL & FAX 0257-52-2360

-3-
積雪会（会長：宮内信之助、長岡技術科学大学教授）との共催で下記
のとおり学習会を開催します。

記
話題：日中富山学術交流訪中団学術交流報告
日時：平成7年2月10日（金）14:45～16:00
場所：長岡技術科学大学 電機系4階会議室
問合先：村村盛彰（小千谷高校）
TEL. 0258-83-2262  FAX. 0258-82-0646

石川地区学習会のお知らせ
日時：平成7年2月13日（月）15:30～17:00
場所：金沢大学工学部 第一会議室
（金沢市小立野２丁目40番20号）
講師：竹井　巖　（北陸大学）
演題：雪氷利用における水文化園と雪文化園
問合先：村本健一郎　（金沢大学工学部）
TEL. 0762-34-4800  FAX. 0762-34-4900

富山地区　積雪観測講習会　のお知らせ
富山地区では、下記の日程で積雪観測講習会を開催します。ふるって
ご参加ください。

日時：平成7年1月29日（日）10:00～15:00
場所：富山県林業技術センター及び国立立山少年自然の家周辺を予定
（富山県立山町吉崎及び立山町芦穂寺）
※積雪の状況により変更することがあります。
講師：川田邦夫（富山大学）、飯田　聡（黒部市吉田科学館）
内容：1）講義・積雪観測の手法についての講義を内で行います。
また、積雪についての話題提供も予定しています。
2）屋外講習会・実際に雪に触れながら、積雪観測法についての実
技講習を行います。

申込方法：下記に、1月25日（水）までに、電話またはFAXでお申込くださ
い。申込された方に後日詳しい日程、集合場所、持ち物等に
ついてお知らせいたします。

申込及び問合先：
川田邦夫　富山大学理学部地球科学科
〒930 富山県富山市五福3190
TEL. 0764-41-1271（内線2549）  FAX. 0764-41-2972
飯田　聡　黒部市吉田科学館
〒938 富山県黒部市吉田574-1
TEL. 0765-57-0610  FAX. 0765-57-0630

参加費：テキスト代として1,000円（当日徴収いたします）。
平成6年度新潟・長野地区積雪調査法講習会のご案内

(1) 講習題目：積雪調査法

(2) 日時：平成7年2月4日（土）9:00～15:30

(3) 会場：〒940 長岡市栄町前山187-16
科学技術庁長岡雪水防災実験研究所
（積雪が少ない場合は実習地を変更することがあります。その際は幹事から参加者へ直接連絡いたします。）

(4) 講師：遠藤八十一氏（農林水産省森林総研）、和泉薰氏（新潟大学災害研）、納口敏明氏・五十嵐高志氏（長岡雪水防災研）、佐藤和秀氏（長岡高専）

(5) 日程と講習内容：
AM 9:00～9:20 受付
AM 9:30～10:30 長岡雪水防災実験研究所の紹介（所長）
AM 10:40～12:00 講義（積雪観測法の概要）
PM 12:00～1:00 昼食
PM 1:00～3:30 野外実習（積雪の層構造と雪質の観察、雪温・密度・積雪相当水量などの測定、雪の含水率の測定）

(6) 定員：16名（先着順）。申し込みがない場合には中止する事があります。

(7) 申し込み締め切り日：1月24日（火）までに、申込書に、所定事項を記入し、郵送またはFAXにて下記にご連絡ください。

(8) 送付先：〒947 小千谷市駒生乙 小千谷高校内 田村盛彰
TEL.0258-83-2262 FAX.0258-82-0646
自宅TEL/FAX.0258-33-3820

(9) 参加費：テキスト、実習材料等の実費を含みます。
正会員・団体会員・学生=1,000円、非会員=2,000円
（講習当日に徴収いたします）

※ 申し込み受付け後、改めて案内をお届けいたします。
※ 講習会終了後、後日修了証を交付いたします。

（講習会幹事 田村・佐藤）

積雪調査法講習会の申込書

氏名：______________________（正会員、団体会員、学生、非会員）
○で囲んでください。

所属：

連絡先：住所／〒

電話番号：__________ FAX：__________
第19回雪水防災研究会・第8回雪水防災研究連絡会
-防災科学技術研究所 長岡雪水防災実験研究所 開所30周年記念-

並びに

第8回新潟県雪対策研究会 の開催について

標記 雪水防災研究会・雪水防災研究連絡会並びに新潟県雪対策研究会が下記のとおり開催されます。

記

日時: 平成7年2月21日（火）10:00～16:30

会場: 新潟県庁講堂（西回廊2F）
〒950 新潟市新光町4番地1 TEL 025-285-5511

主催: 科学技術庁 防災科学技術研究所 長岡雪水防災実験研究所

新潟県

プログラム:

10:00-10:10 開会
雪水防災研究会・新潟県雪対策研究会

< 特別講演 >

10:10-11:05 (1) 21世紀の地球科学
-特に地球環境と人類の生存について-
日本大学文理学部教授 萩原幸男

11:05-12:00 (2) これからの雪国と雪水科学
-地球温暖化と積雪の中で-
防災科学技術研究所長岡雪水防災実験研究所
所長 中村 勉

13:00-16:30 雪水防災研究連絡会・新潟県雪対策研究会
（雪水に関する調査研究概要の発表及び意見交換）

閉会

* 参加は無料です。詳しくは下記までお問い合わせください。

長岡雪水防災実験研究所 納口恭明・小林俊市
〒940 長岡市栃吉町前山187-16
TEL. 0258-35-7522 FAX. 0258-35-0020
雪氷観察会の開催について

雪氷の専門家以外の一般の市民を対象として、雪に対するいろいろな疑問を解くための雪氷観察会が長岡市立科学博物館の主催で下記のとおり開催されます。

記

日時：平成7年2月19日（日）13:30～16:30
（荒天でも実施しますが、積雪のない場合は延期します）

会場：長岡雪氷防災実験研究所周辺

対象：小学生～一般

問合せ：長岡市立科学博物館 TEL. 0258-35-0184

各支部発行の刊行物案内（最新情報）

北海道支部
「北海道の雪氷 13号」（1994年） ￥500

申込は下記へ
〒060 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所 石川信敬
TEL.011-716-2111（内線6882） FAX.011-716-5698

東北支部
「東北の雪と生活 9号」（1994年） ￥1,500

申込は下記へ
〒020 盛岡市上田4-3-5
岩手大学工学部建設環境工学科 平山 健一
TEL.0196-23-5171（内線2842） FAX.0196-52-4059

北信越支部
「雪氷北信越 13号」（1994年） ￥1,000

申込は下記へ
〒940 長岡市栄町前山187-18
長岡雪氷防災実験研究所 納口 恭明
TEL.0258-35-7522 FAX.0258-35-0020

関東・中部・西日本支部
「関東・中部・西日本支部ニュース No.27」 ￥200
（1995年1月）

申込は下記へ
〒192-03 八王子市南大沢1-1
東京都立大学理学部地質学教室 鈴木 啓助
TEL.0426-77-2595 FAX.0426-77-2589
1995年度支部賞授賞候補者推薦の申出について

1995年度支部賞授賞候補者の推薦には、支部の理事および評議員が、
下記の項目を記載して4月10日までに書類を支部事務局へ提出すること
とされております。
候補者にお心当たりの方は、期限間に合うようお近くの理事あ
るいは評議員へお申し出下さい。

記
(1)雪絵技術賞、大賞賞、雪絵労働賞の区別。
(2)推薦者の氏名、所属、職名。
(3)推薦候補者の氏名（または団体名）、所属、職名。
(4)推薦理由書（〇〇〇〇の功績などの授賞要因を掲げ、800字ほど
にまとめたもの）。
(5)上記の理由書を証明する関係書類があれば添付する。

案内
雪遊び体験イベント「SNOW JAM 2001」

日時：平成7年2月11日（土）～12日（日）
場所：長野県飯山市 城北グランド
主催：国土庁
協力：長野県飯山市
プログラム：
2／11（土）雪遊び事例報告 13:30～14:30
（国際雪合戦、雪上野球、雪中キャンプ等）
雪遊び体験 13:30～16:30
（雪合戦大会、雪中野球大会、雪中キャンプ講座）
2／12（日）競雪運動会 10:00～12:00

話題
雪の字のつく苗字はいくつあるか？

現在の日本人の「姓氏」（苗字）の総数数約13万の中で「雪」の
字のつくものが80件あった。そのうち、雪の字が上につくものが57
件、下につくものが18件、また“雪”一字のみで読み方が異なるも
のが5件あり、合計89件となった。紙面の都合で全部を紹介でき
ないが、難しい読み方の例を下記に示す。

雪（キヨシ、ススキ、ススギ、ススギ、ユキ）
雪舟谷（ウバガタニ）
雪見荘（セッカンソウ）
雪絵（セッタン）

*出典：日本姓氏大辞典（表音編）－角川書店刊－
（小林幹事 記）

その他
『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市
TEL.0258-35-7522
FAX.0258-35-0020

までお願いします。